

# けいはんなイノベーション共創シンポジウム 「超快適スマート社会」への挑戦

日時

2018年 **10**月**30**日(火)

**13:00 ~ 16:30** <<開場 12:30>>

場所

**イイノカンファレンスセンター Room B**

■東京都千代田区内幸町 2-1-1 飯野ビルディング  東京メトロ日比谷線・千代田線 霞ヶ関駅 C4 出口直結

けいはんな学研都市が誇る最先端の *i-Brain* (脳情報科学、人間科学、心理・行動学、生体情報計測技術等の技術の総称) と ICT (情報通信技術) を重層化し、グローバルな連携の下でイノベーションの連鎖を引き起こす「けいはんなリサーチコンプレックス事業」人のココロに寄り添う「超快適」スマート社会の実現に向けた、けいはんなの挑戦をご紹介します。

## 開会挨拶

けいはんなリサーチコンプレックス推進プログラムオーガナイザ 公立大学法人奈良県立医科大学理事長・学長 **細井 裕司**  
国立研究開発法人科学技術振興機構 プログラムオフィサ **結城 章夫**

## 活動報告 けいはんなリサーチコンプレックスが目指す社会

**けいはんなグローバルイノベーション・エコシステム** けいはんなリサーチコンプレックス戦略ディレクタ・イノベーションハブ推進リーダー 株式会社国際電気通信基礎技術研究所 (ATR) 代表取締役専務 **鈴木 博之**

***i-Brain* × ICT による超快適創出技術と実証フィールドの構築** けいはんなリサーチコンプレックス 研究推進リーダー 国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT) 脳情報通信融合研究センター 脳機能解析研究室 副室長 **安藤 広志**

## 研究開発報告

**VR が変える身体と心** 東京大学大学院 情報理工学系研究科 教授 **廣瀬 通孝**

**人の心に寄り添うアフェクティブロボットの開発** 奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 准教授 **神原 誠之**

**無意識の感情を脳科学で捉える～基礎から応用へ～** 京都大学 こころの未来研究センター 准教授 **佐藤 弥**

## パネルディスカッション 「超快適スマート社会に向けた技術革新と新産業価値の創出」

パネリスト：廣瀬氏、神原氏、佐藤氏 モデレータ：安藤研究推進リーダー

**参加無料**

要事前申し込み。下記 URL からお申込みください。

**[Web]** <http://keihanna-rc.jp/events/event/kri-sympo-2/>

お問い合わせ先：けいはんなリサーチコンプレックス事務局 [E-mail] [info@keihanna-rc.jp](mailto:info@keihanna-rc.jp)



13:00-13:05 開会挨拶

けいはんなリサーチコンプレックス推進プログラムオーガナイザ 公立大学法人奈良県立医科大学理事長・学長

細井 裕司

国立研究開発法人科学技術振興機構 プログラムオフィサ

結城 章夫

13:10-13:50 活動報告～けいはんなリサーチコンプレックスが目指す社会～

## けいはんなグローバルイノベーション・エコシステム

けいはんなリサーチコンプレックス戦略ディレクタ・イノベーションハブ推進リーダ  
株式会社国際電気通信基礎技術研究所 (ATR) 代表取締役専務

鈴木 博之



1986年 東京大学大学院理学系研究科博士課程修了(理学博士)同年、日本電信電話株式会社(NTT)に入社、研究所に配属。有機物質、酸化物結晶、化合物半導体を用いた基礎・応用・実用化研究等に従事。その後、独・バイロイト大学物理学研究所招聘研究員(1991、1996年)2007年よりATRにおいて、ATRの経営全般、ATRグループの経営戦略ならびに「けいはんな ATR ファンド」等を用いた研究成果の事業化を統括・推進。その他 JST S-イノベ「有機材料を基礎とした新規エレクトロニクス技術の開発」アドバイザー、一般社団法人有機エレクトロニクス材料研究会(JOEM)理事長等を務める。

## i-Brain×ICT による超快適創出技術と実証フィールドの構築

けいはんなリサーチコンプレックス 研究推進リーダ

国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)脳情報通信融合研究センター 脳機能解析研究室 副室長

安藤 広志



1983年京都大学理学部卒業(物理学)1987年京都大学文学研究科修士課程修了(実験心理学)1992年米国MIT 脳・認知科学科博士課程修了、1993年 Ph.D.(計算神経科学) ATR(株式会社国際電気通信基礎技術研究所)認知ダイナミクス研究室長を経て、2006年より国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)において、多感覚情報の認知脳科学と多感覚インターフェースの研究に従事。  
現在、脳情報通信融合研究センター(CiNet)脳機能解析研究室副室長、大阪大学大学院生命機能研究科招聘教授。

13:50-14:20 研究開発報告「VRが変える身体と心」

東京大学大学院 情報理工学系研究科 教授 廣瀬 通孝

東京大学大学院情報理工学系研究科教授。1954年神奈川県生まれ。1977年東京大学工学部卒業。1982年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。工学博士。東京大学工学部講師、助教授、教授を歴任。この間、日本VR学会会長などを務める。専門はシステム工学、ヒューマンインタフェース、バーチャル・リアリティ。我が国のVR研究における先駆的役割を果たし、「デジタルミュージアム」、「デジタルパブリックアート」、「バーチャルスタジアム」などの大型研究プロジェクトのリーダを務める。東京テクノフォーラムゴールドメダル賞、大川出版賞など受賞。主な著書に「バーチャル・リアリティ」(産業図書)「ヒトと機械のあいだ」(岩波書店)など



14:20-14:50 研究開発報告「人の心に寄り添うアフェクティブロボットの開発」

奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 准教授 神原 誠之

2002年奈良先端科学技術大学院大学博士後期課程修了。2002年同大情報科学研究科助教。2002年日本電気通信株式会社(NEC)インターネットシステム研究所連携ラボ客員研究員(2008年3月まで)2008年 University of California Santa Barbara 客員研究員(2009年3月まで)2010年同大准教授、現在に至る。複合/拡張現実感、環境知能、ヒューマンロボットインタラクションの研究に従事。2011年株式会社 国際電気通信基礎技術研究所(ATR)客員研究員



14:50-15:20 研究開発報告「無意識の感情を脳科学で捉える～基礎から応用へ～」

京都大学 こころの未来研究センター 准教授 佐藤 弥

1997年、京都大学教育学部卒業。京都大学大学院教育学研究科博士課程修了。京都大学霊長類研究所比較認知発達(ベネッセコーポレーション)研究部門助教授、京都大学白眉センター特定准教授などを経て、現職。専門は、実験心理学・認知神経科学。心理実験、fMRI、MEGといった手法を用いて、感情および社会的コミュニケーションの認知神経メカニズムを研究している。



15:30-16:27 パネルディスカッション「超快適スマート社会に向けた技術革新と新産業価値の創出」

パネリスト：廣瀬氏・神原氏・佐藤氏

モデレータ：安藤研究推進リーダ

16:30 閉会